

令和5年度 部局経営目標

年度	令和5年度	作成日	令和5年4月1日
部局名	市長直轄組織	部局長名	今石 久嗣
(1) 部局の役割・使命（ミッション）・経営方針			
【No.11：住み続けられるまちづくりを】 1. 災害に強いまちづくり 災害に強いまちづくりを進めます。 2. 防災意識の向上 地域の自助・共助による防災意識の向上を図ります。			
(2) 事業成果目標			指標名及び目標値
1－①緊急時の市民への迅速な情報伝達を目的とした「消防・防災情報配信システム」の普及を目指します ・利用率の高いLINEをはじめとした各種情報伝達手段で、モバイル媒体を活用する若者世代から、アナログ媒体に親しみのある高齢者世代まで効果的な手段で市民等への災害時情報配信の強化を行い、「避難率の向上」と「逃げ遅れゼロ」を目指します。 ・情報の受け手に登録をしてもらう必要があるため、広報紙、MIT、新聞を活用し広報を行う。 ・まにこいの普及活動と連携し、市民の集まる場所での普及啓発を行う。			指標:システム登録者数 目標値:2,500人 (令和4年度実績値:1,038人)
1－②大規模な災害が発生した場合を想定し配備している「備蓄品」を適正に管理します ・大規模災害の発生被害及び他自治体からの支援到着時期を想定し、孤立が想定されるなど地域の地理的条件等も踏まえて、備蓄している食料、飲料水、生活必需品等を真庭市備蓄計画により、適正に管理・更新する。 ・新たに備蓄したマスク、消毒などの感染症対策物品についても使用期限前の更新を行うことにより、より確実な対策を行う。 ・特に、直接口に入るもの、肌に触れるものは遅滞なく更新を行い、期限がくるものについては自主防災組織の訓練、学校での訓練で配布を行いロスを削減する。			指標:期限切れ備蓄品数 目標値:備蓄計画による (令和4年度実績値:計画どおり完了)
1－③消防団の機能充実を図るため「消防ポンプ車」「小型ポンプ積載車」「小型ポンプ」を計画的に更新します ・老朽化した消防車両等を更新計画に基づき更新し、消防力の維持・向上を図る。			指標:更新台数 目標値:ポンプ車1台、積載車3台、小型ポンプ5台 (令和4年度実績値:ポンプ車1台 積載車5台 小型ポンプ4台)
1－⑦真庭市地域防災計画の見直しを行います ・近年頻発する大規模災害を教訓とし、今後災害発生に備えるため、災害対策基本法の一部改正、国の防災基本計画、岡山県地域防災計画の改定を踏まえ、真庭市地域防災計画の見直しを行います。 ・現状に即した見直しを行うことにより、迅速かつ的確な現場対応を可能とする、より実用性の高い防災体制を構築する。 ・見直しを行った防災体制による職員の参集訓練を行い、防災体制の強化を図る。			指標:開催回数 ①防災会議 ②危機管理推進会議 目標値:①1回 ②1回 (令和4年度実績値:防災会議1回、危機管理推進会議1回)

<p>1－⑧自家発電設備の導入が困難な指定避難所への給電体制を整備します</p> <p>・大規模災害時に、近隣の自家発電設備とEVが導入されている公共施設から、電気の運搬を受けられるよう、自家発電設備の導入が困難な指定避難所へ給電設備を導入するとともに、自家発電設備とEVが導入されている公共施設にも、順次V2H（※）設備を導入する。</p> <p>・令和5年度は導入計画の策定を行う。</p> <p>※V2H：V2H充放電設備＝電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）への充電並びにEV・PHVから施設へ放電（給電）ができる装置。放電（給電）機能は災害等による停電時のレジリエンスを向上させる。</p>	<p>指標：導入計画作成</p> <p>目標値：年度内</p> <p>（令和4年度実績値：－）</p>
<p>2－①地域住民の防災意識の向上を図るための啓蒙、啓発を実施します</p> <p>・「自らの命を守るために自助共助の主体である地域住民の防災意識の向上を図る」をテーマとし、最新の防災情報はもとより、平時の対策方法や避難の方法を周知し、住民一人ひとりの防災意識の向上を図ることを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報真庭や真庭市ホームページ、MIT等を活用しての広報活動 ・防災イベント開催又は参加しての広報活動 	<p>指標：活動回数</p> <p>①広報誌等での広報活動 ②防災イベントでの広報活動</p> <p>目標値：①6回、②4回</p> <p>指標変更 （令和4年度実績値：－）</p>
<p>2－②自主防災組織等の避難・防災訓練を支援します</p> <p>・自主防災組織の組織率も80%を超え各地域に取り組みが普及してきたことから、今後は組織の育成強化に重点を置き、更なる防災力の向上を図ります。</p> <p>・防災意識の高揚を図るため、自主防災組織等で実施する研修会や避難・防災訓練を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織補助金の活用 ・防災出前講座の活用 	<p>指標：開催回数</p> <p>・防災出前講座</p> <p>目標値：20回</p> <p>（令和4年度実績値：24回）</p>
<p>2－③多くの市民の方が参加できる防災訓練・防災講演会を実施します</p> <p>・浸水被害、土砂災害などを想定し、真庭市と地域団体等による防災訓練を実施します。</p> <p>・避難所の開設運営訓練を行うことにより、有事の際により安全な避難所の運営を目指します。</p> <p>・職員向けの防災研修や被災地への派遣など、職員の防災対応スキルの向上に努めます。</p> <p>・防災講演会「みんなで防災in真庭」を開催し、多くの市民の方に防災への関心を持ってもらう。</p>	<p>指標：開催回数</p> <p>①防災訓練、②防災講演会</p> <p>目標値：①1回、②1回</p> <p>指標変更 （令和4年度実績値：1回）</p>